

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 27 年 10 月分（7 月 31 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H27.10.1	構内ダストモニタ設備 （大気中に浮遊している ちりやほこりに含まれる 放射性物質の量を監視し ている設備）	構内ダストモニタ設備のうち、測定 値を監視する装置において、当該装 置の異常を示すメッセージが発生 し、一部の機器で測定値が表示でき ないことを確認した。 調査の結果、データ表示を行うソフ トウェアの一部に不備があったた め、ソフトウェアの修正を行い、復 旧した。 原因調査の結果、納入されたソフ トウェアのプログラムに入力ミスがあ ったことがわかった。このため、製 造メーカーにおいて、ソフトウェア 製作時の社内ルールを変更するよう に指導した。	処置済み	屋 外
2	H27.10.5	屋外排水設備 （発電所非管理区域内 の生活排水等を浄化槽 に送り、排水する設備）	屋外排水設備の槽において、排水ポ ンプの異常を示す警報が発生した。 原因調査の結果、当該警報を発生さ せる制御盤の基盤が経年劣化したこ とによるものであったことから、制 御盤の取替えを実施し、復旧した。	処置済み	屋 外

3	H27.10.7	<p>プロセス放射線モニタ設備 （放射線を連続的に測定・監視する設備）</p>	<p>4台設置されている原子炉建屋内の燃料取替エリア放射線モニタ設備のうち1台において、放射線量が高いことを示す警報が発生し、即復旧する事象を確認した。 当該設備の点検を行い、異常が無いことを確認した。 原因調査の結果、放射線量を上昇させる作業は実施していなかったことと、当該モニタ以外の燃料取替エリア放射線モニタ値は通常値であったことから、当該設備の設置箇所周辺の原子炉建屋外壁において、塗装作業用の足場の固定作業を行っていた際の振動によって、当該設備が誤動作したものと推定した。 このため、振動による影響がない場所に当該設備を一時的に移設した。</p>	処置済み	原子炉建屋
4	H27.10.8	<p>プロセス計算機 （プラントの運転状態の監視・管理の補助設備）</p>	<p>プロセス計算機のうち、プラント運転中に主に使用する管理端末において、データの通信障害を示す警報が発生した。 原因調査のため点検を実施したところ、管理端末の動作に異常は確認されず、点検後、事象は復旧した。その後、事象の再現もなかったことから、一過性の事象であると判断した。</p>	処置済み	中央制御室
5	H27.10.13	<p>サービス建屋換気空調系設備 （サービス建屋内の環境を適切にするための空調設備）</p>	<p>サービス建屋換気空調系設備の点検のため、サービス建屋給気空調機内部を確認したところ、内部に設置されているフィルタが破れて通気口に詰まっていることを確認した。 このため、破れたフィルタを除去したうえで、フィルタの取替を行った。 原因調査の結果、フィルタが破れた原因は確認されず、偶発的に破れたものと判断した。</p>	処置済み	サービス建屋

6	H27. 10. 16	<p>碍子洗浄装置・変圧器 消火設備 (碍子の洗浄および変 圧器の消火をする設 備)</p>	<p>碍子洗浄装置・変圧器消火設備の点検において、点検後に漏えい確認を実施したところ、配管接続部から非放射性の水の滴下が確認された。当該配管接続部を分解点検し、原因調査を行った結果、配管接続部に異常は確認されなかったことから、弁操作等による応力で経年的に配管接続部が緩んだものと推定した。このため、配管接続部の締め付けを実施し、水の滴下がないことを確認し、復旧した。</p>	処置済み	屋 外
7	H27. 10. 19	<p>海水熱交換器建屋排水 設備 (海水熱交換器建屋内 で使用した海水等を排 水する設備)</p>	<p>海水熱交換器建屋において、建屋内の非放射性の水を排水する配管が詰まっていることを確認した。このため、当該配管を清掃し、復旧した。原因調査の結果、常時海水が流入することにより、貝類の海生生物が配管に付着して、配管内に詰まったものと推定した。このため、点検時に配管の内部確認を行うよう、工事仕様書に反映した。</p>	処置済み	海 水 熱交換器 建 屋
8	H27. 10. 20	<p>取水口除塵装置 (復水器や海水系熱交 換器等に供給する冷却 用の海水中に含まれる ごみを取り除く設備)</p>	<p>取水口に設置されている除塵装置において、装置の異常を示す警報が発生したため、確認したところ、昇降用ワイヤー2本のうち、1本が切れていることを確認した。このため、当該ワイヤーの取替を行った。原因調査の結果、当該ワイヤーの切断面まで錆が進行していたことから、経年劣化によるものと推定した。また、錆の進行に対するワイヤーの取替条件が明確ではなかったことから、経年劣化を考慮した取替頻度を点検計画に定め、定期的に取り替を行うこととした。</p>	処置済み	屋 外

9	H27. 10. 27	鉄イオン供給装置 (海水系熱交換器の細管内に防食性を高める保護皮膜を形成するため、鉄イオンを供給する装置)	鉄イオン供給装置の点検において、点検後に漏えい確認を実施したところ、装置入口の流量計の配管接続部から水の滲みが確認されたことから、当該装置を停止した。 原因調査の結果、当該流量計を取り付ける際、配管支持金具のスペーサの隙間調整を行わなかったことにより、当該配管の自重により配管接続部の締め付け力を低下させ、水の滲みが発生したものと推定した。 このため、当該流量計の分解点検の際は、配管支持金具のスペーサの隙間調整を行う旨工事仕様書へ反映した。	処置済み	海 水 熱交換器 建 屋
10	H27. 10. 28	補助ボイラー設備 (発電所の各系統で使用する非放射性の蒸気を供給する設備)	補助ボイラー設備において、排気ガス温度計が故障していることを確認した。 このため、当該温度計の取替を実施した。 原因調査の結果、当該温度計の故障を引き起こす原因は確認されず、偶発的に故障したものと判断し、復旧した。	処置済み	補 助 ボイラー 建 屋

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。